

## お買い物ので社会貢献!?

### ～CHARITY for 大阪難病センター建設募金～

#### ♡「CHARITY for ...」とは？

第 57 回友好祭実行委員会と大阪府立大学ボランティア・市民活動センターV-station が企画し、「チャリティー店舗」の協力を得て友好祭中に行っている募金活動です。多くの人々が来場する学園祭を通じて、社会に貢献することを目的としています。



#### ♡「チャリティー店舗」とは？

チャリティー店舗では、売上の一部を寄付にあてる「チャリティーメニュー」を導入しています。来場者のみなさまがチャリティー店舗で対象商品を購入すれば、商品 1 個につき 10 円が寄付につながります。チャリティー店舗は、上のロゴが入った認定証を店頭に掲示しています。

寄付の結果は V-station の HP にて 6 月中に発表予定です。



## ♡ 募金の寄付先は？

“健康”これほど大切なものはありません。その“健康”が失われ、苦しんでいる人がいます。難病は全部で 5000～7000 あり、

「NPO 法人大阪難病連」は、患者・家族が、希望を持って療養生活を送れるよう支援を行っています。今回の寄付金は、難病に苦しんでいる患者さんたちの“よりどころ”となる難病センターの建設に役立てられます。

### 【難病センターの役割】

- ・ 生きる希望と勇気を与えてくれる交流室
- ・ 難病の相談ができる相談室
- ・ 講演会や学習会ができる会議室

## ☆ 連携企画のご案内

大阪難病連は、友好祭中「難病啓発」「映画上映」（P52 参照）という企画を出展し、難病に関する啓発パネルの展示等を行うと共に、募金箱を設置しています。

友好祭実行委員会は、友好祭中「Body Check Station」（P45 参照）と「おひさま Café」（P51 参照）という企画を出展し、募金箱を設置しています。また、会場内の案内所・景品交換所にも募金箱を設置しています。

友好祭終了後、チャリティー店舗の寄付額とこれらの募金箱に集まった額を合算し、今回の寄付金額とします。